

(再開 午後2時40分)

議長（勝山 正）

休憩前に引き続き会議を開きます。

8番 山崎栄喜議員。

(「はい、議長。8番。」の声あり)

(8番 山崎栄喜 議員 登壇)

1. 道の駅再整備方針について

8番 山崎栄喜 議員

発言を許されましたので、通告に基づき、3項目について質問します。

最初の質問、道の駅再整備方針について質問します。

8月22日に開催されました議会全員協議会に、道の駅再整備事業に関わる整備方針が示されました。

そこで、次の5点について村長に伺います。

まず1点目ですが、5月に示されました整備方針には（案）が付いていましたが、今回は外れています。整備方針は確定したのかどうかお聞きします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

「再整備方針は確定したのか」というご質問ですが、目指す方向性を示す、そういう意味での再整備方針については確定したと考えております。また今後、これまでに頂戴しましたご意見等を踏まえて、機能の詳細検討や概算事業費の算定を進めまして、今年度末に再整備計画を示したいと考えております。再生計画が決まったというわけではありませんので、ご理解いただきたいと思っております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

次の2点目の質問ですが、整備方針（案）から変更となった点としましては、再整備の目的に、新たに村民の社会参加、健康増進に結びつく講座などの活動拠点の場を提供することが追加されましたが、これを保健センターや若者センター、農村交流館などの既存施設を使用しないで道の駅を使用する理由と、村長が目指す道の駅のコセプト4項目から外れていないのか。また、この内容で、国の補助事業の対象となり、村の活性化を牽引する施設として大きな効果が期待できるのかどうか。さらには、この運営を指定管理者に任せるのかどうか。お尋ねをいたします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

社会参加、それから健康増進に結びつく活動拠点を道の駅の再整備の目的に追加した理由についてですが、先日、議会の全員協議会でも説明させていただきました。

社会参加、健康増進メニューを提供する場の例として、健康教室とかフィットネス、飲食店の開業を目指す方が試験的に開業できる場としてのチャレンジショップであるとか、コワーキングスペース、イベントスペースの整備を検討するものであります。その利用者の想定として、村民だけでなく、こ

の地域にお住まいの方、さらには旅行に来られた方も利用もしていただければと考えております。地域住民や旅行者の利用を想定した場合、村の玄関口である道の駅が適しているのかなと考えております。また、道の駅のコンセプトに掲げた「ちょっと立ち寄りたくなる賑わいのあるところ」とするための一つにもなると考えております。

また、「村の活性化を牽引する施設として、大きな効果が期待できるのか」というご質問ですが、活性化を牽引していく施設とするために再整備計画を取り組んでおりますので、よろしく願いいたします。

ご質問について、産業企画室長に補足の答弁をさせます。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

産業企画室長（本山 等）

村長の答弁に補足しお答えします。

「この内容が国庫補助事業の対象になるのか」とのご質問ですが、地域振興に資する内容であれば補助の対象になり得ます。また、事業採択に当たっては、国の事前相談を経てから申請する必要がありますので、個別具体的な部分は、この事前相談を通じて整理してまいります。

つぎに、「この運営も指定管理者に任せるのか」というご質問ですが、基本的には施設全体を指定管理者が管理運営することを想定しております。ただし、特定の部分については、テナント方式で出店者を募集するという考えられます。

指定管理者が施設全体を管理運営するのかどうかにつきましては、今後予定する指定管理者公募時までに整理したいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

保健センターは、研修や注射を今日も行っておりますが、それ以外に、健康講座を行う目的もあって建てたものだと認識をしておりますが、この道の駅で行う場合には、職員がわざわざ車で道の駅まで出向かなければならないということになりまして、非効率だというふうに思います。

先ほど、ちょっと質問の内容とずれているような感じがありましたが、私は、村民の社会参加と健康増進の講座の関係について質問したわけでありまして、それを管理者に丸投げするのか、村がその部分を行うのか。指定管理者に任せる場合には村民だけじゃなくて、地域住民、あるいはほかの皆さんもいいというふうになるうかと思っておりますが、その辺はちょっと、私の意図した質問とずれていると思っておりますが、答弁お願いしたいと思っております。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

産業企画室長（本山 等）

議員ご指摘の「健康講座」の件でございますが、議員がおっしゃられているのは、村が主催して行っている健康講座を指していると思っております。村として全協の方で説明させていただいた健康講座というものは、それとはまた別のものを想定しております。指定管理者が行う、村が主催のものではなく、村民以外の方も参加できるようなものを考えたものでございます。そういった場としての考え方を示したところであります。よろしく申し上げます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

ということは、指定管理委託料には、そういうものの経費もかさんでくるというふうな解釈でよろしいでしょうか。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

産業企画室長（本山 等）

公益事業として行った場合については指定管理費が入ってくると思いますが、収益的な考え方で臨むのであれば、指定管理費の村からの支出はないと考えていいと思っておりますが、そこはまだ具体的になっておりませんので。例えばですが、全協の方でも申し上げましたが、フィットネスですか、そういったものを想定しての考え方でございます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

村が主催する健康教室とは全く別物という考え方ということで、それについては了解いたしました。つぎ、3点目の質問ですが、施設の機能のうち検討となっていました簡易宿泊施設、ブルワリー、生ハム製造所について、今の方針から表記が削除されております。

運営事業者、これは令和7年度中に選任予定ということでございますが、運営事業者が提案する機能のうち、賑わいを創出し、採算性が高いと考えられる機能に変更になりましたが、簡易宿泊施設やブルワリーなどについて、村は検討の結果、うまくいかないものと判断をされたのかどうか。また、賑わいが創出され、採算性が高ければどんな業種でも良いのか、お尋ねをしたいと思います。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

産業企画室長（本山 等）

ご質問いただきました「施設機能に掲げていたブルワリー等を表記から削った経過」でございますが、6月議会の山崎議員の一般質問でもお答えしたとおりでございますが、今後予定する指定管理者の募集にあたって、参加事業者を限定的にしてしまう機能は好ましくないという、そういった観点で削除をしたものでございます。

それと次に「どんな業種でも良いのか」というご質問であります。どのような業種を指しておられるのか不明でありますけれども、公序良俗に反せず道の駅の整備目的に合致するものであれば、問題はないと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

4点目に、本年6月議会において、江田議員の一般質問に対して「農産物加工など6次産業化機能は予定せず、農の拠点の考え方を外す」と答弁をされましたが、そのことは農業立村を標榜してきた村のイメージの低下に繋がるのではないのでしょうか。また、農の拠点施設に変わる人を引き寄せるキャッチコピー、それは何にしたいか、お尋ねしたいと思います。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

「農業立村の標榜に対して、イメージが低下するんじゃないか」というご意見であります。現施設につきましては、農業の6次産業化による地域の振興と地域経済の活性化を目的にということで、6次産業化の柱となる様々な食品加工室を備えた農の拠点施設を整備したわけでありまして。

しかし、ご存知のとおり、施設等の問題もあつたり様々な課題があつて、この6次産業化の部分が計画どおり進んでいないまま、現在の整備計画に至っているわけでありまして。

このようなことから、道の駅と6次産業化とは別に考え、道の駅としての整備を計画したいと考えております。また、イメージを悪化させないためにも、現施設が抱える屋根の老朽化による雨漏りや空調が無いなど施設の課題解決を図るため、道の駅再整備事業を進めてまいりたいと考えております。

また、再整備に合わせて、農産物直売所たる川の皆さんとも調整をしながら、道の駅で加工品も含めた農産物の取扱いをより多くすることで、多くの農家の皆さんにも関わっていく施設にすることができると、それによって、これまで以上に農業振興にも繋がるものと考えております。

「人を引き付けるキャッチコピーは」ということではありますが、現時点ではそういうものは作っておりませんが、村の四季折々の変化を通じて、その時期にしか得られない村の食材や風景を楽しむための玄関口にしたい、そんな思いが伝わるものにしていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

つぎ、5点目の質問で、私が思うには、再整備の失敗は絶対に許されないとします。

この方針で村民の理解と支持が得られ、村外者も多く訪れ、活況ある道の駅として再生できる確信がぁおりののかどうか、村長にお尋ねしたいと思います。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

これについては、前々からいろいろ申し上げているわけでありまして。

現に村にある施設を、言ってみれば有効に使うのか、それとも、解体してまたゼロに戻すのかという議論から始まるわけでありまして、以前にも申し上げましたとおり、現在ある施設で使っている部分もあります。そしてまた、解体等についても多額の費用がかかる中で、今の計画では、今ある施設を有効に活用することによって、村に賑わいを作る施設にしたいということで計画したわけでありまして。

これまでも様々な議論、ご意見等をいただいております。これからももっとそういう意見はあると思いますが、現時点、村が考えているのは、あるものを有効に使いながら村の活性化に努めていきたい、その中身についてご意見等をいただきながら、できるだけ確信に至る計画に持っていく、そのた

めには、また村民の皆さんのご理解も必要だと思いますので、この場をお借りしてまたお願いをしたいと思います。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

答弁の中で「あるものを有効に使う」という答弁がございましたが、前段申し上げたように、失敗は許されないと、村民感情からすると、私はそう思っていますが。そういうことで、立派な施設になれば問題ないわけでございます。ならないときに、ちょっとその反響が問題だろうと思います。あるものを有効に使うという話でございます。時代とともに不要になるものも出てくるわけですね。だからぜひ有効活用できる、みんなに喜ばれる施設になるように、ぜひまた、計画の方を詰めていただければと思います。また、その段階でいろいろ申し上げたいと思います。

それで、この計画ですが、全体的に村民利用、それから村民主体の整備計画になっていて、どうも私を感じるには、インパクトが弱くて物足りないようなイメージがありますが、くどいようでございますが、これで本当に活況がある施設に再生できるかどうかと、ちょっと私は今のところ判断はできませんが、村長は、絶対に大丈夫だというふうに答弁なされるならそういうことで、再度、くどいようでございますが、答弁をお願いします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

これも以前に申し上げましたが、やはり、村として観光施設だったり、それからまた、村の農産物をPRする場として道の駅は必要な施設だろうと。そこを起点にして、村に活力をもたらす、そういうことができるものにしていかなければならないだろうと思っております。

あるものを利用するといっても、使えないものを利用するという意味ではありません。今回も提案申し上げているのは、正直言って使えない部分については解体をして、新たなものを作るということでありまして。使えるものは使っていく、使えないものはしっかり整理していく、その辺は議員のおっしゃるとおり、しっかり進めていきたいと思っております。

いずれにしても、最初に申し上げました、道の駅が村民だけじゃなく、村の外から来られる皆さんにとっても喜んでいただける施設にすることによって、村の農業、観光、様々な産業の振興に繋がるようにしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

2. ホテルシューネスベルクの活用について

8番 山崎栄喜 議員

それでは2番目の質問、ホテルシューネスベルクの活用について質問します。

8月22日開催の議会全員協議会にホテルシューネスベルクを活用した場合の調査を行うという方針が示されました。

そこで、次の3点について村長に伺います。

1点目ですが、ホテルシューネスベルクは、昨年ようやく新しい運営事業者が決まり、その運営事業者がホテルの修繕を行って、ゲレンデとともに使用する予定であったものが、今年の6月をもって

指定管理者の取消しとなりました。

ホテルを活用するにしても、経年劣化が著しく、屋根からの雨漏りと天井の一部落下、壁やじゅうたんの汚れ、風呂過装置の故障、ボイラーの更新などがあり、大規模なリニューアル工事が必要になり、また現代では、当時は必要でなかったエアコンやエレベーターの設置が必要と考えます。

改修費用が莫大な金額になる可能性が高いと思いますが、想定される改修費用とその財源についてお伺いします。また、この改修を行えば、新しい指定管理者が見込める確信がおりなのかどうか、お尋ねをします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

今回の調査については、指定管理をする場合にどのぐらいの費用がかかるかというのが一番大きな目的であります。逆に言えば、新たな施設管理者が見込めない状況で改修することは考えておりません。リフトも含めて解体撤去し、土地を国に返還することもあると考えておりますので、よろしくお願ひします。

補足の説明を産業課長に答弁させます。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

それでは私から申し上げます。

平成30年度時点では、施設や設備で修繕が必要なもので、個別の見積もりを合計したものが約7,800万円と試算をしています。その後、施設の老朽化が進む中、新たに雨漏りで発生した天井の落下や設備の老朽化、備品の盗難等があり、更に新たに経費がかかるものが想定されています。

また、コロナ渦を終えた現在、人件費や物価の高騰などもあり、改めて概算経費を算出し、指定管理者を募集するかどうか、また、違う方策を考えていくかどうかの判断材料が必要と判断をしています。なお、村が整備するとした場合の財源については、ホテルなどの事業に対する補助金は今のところ見込めず、過疎債なども該当にならないため、一般財源となります。

また、「改修を行えば新しい指定管理者が見込めるかどうか確信があるのか」ということでございますが、現時点、見込める確信はございません。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

答弁いただきましたが、村長と課長の答弁がちょっとよくわからなかったんですが、はっきりお聞きしますが、村が改修する場合には全額村費で、補助金とか起債はダメだと。つまり、全額一般財源でやらざるを得ないということになるということだと思いますが、改修を、場合によっては村が行うのか、指定管理者が行うのか、はっきりとその辺、答弁願ひしたいと思います。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

現時点、その辺の方向といいますか方針は、はっきり決めておりません。

今回調査をした段階でどのような形が可能かどうか、これについては、全協等でも話をしておりま
すとおり、土地が国有地でございます。林野庁との協議も必要になってきておりますので、どんな方
向が可能性として残されているのか、その辺も勘案しながら最終的には判断をしていきたいと思っ
ております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

指定管理に出すかどうかというところで、調査をするということですが、どんな業者に任せてそ
ういう調査を行うのかどうか、村ではできないかどうか、その辺をお尋ねしたい。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

基本的な調査につきましては建物の劣化に伴う改修、そして、設備の方については経年劣化に伴う
更新の見込みを調査する予定であります。

「村でできないのか」ということでございますが、村ではそういった専門的な技術を持った職員が
おりませんので、委託の方向で、設計業務をできる事業者へ委託をしたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

村長は、最近ホテルに行かれたことがあるかどうかわかりませんが、私が見る限り、議員全員で見
ましたが、かなり劣化が激しいんですね。ある人の話では、ホテルの改修だけでも2億円～4億円
かかるだろうというふうに言っていました。ホテル単体ではそういうことですね。そこに、今ゲレン
デは雑木が、立ち木がかなり生えていまして、かなり重厚な整備をしないとイケないだろうと思いま
すし、リフトももうかなり支柱からして駄目な状態でございますので、どのぐらい金かかるかわから
ないぐらい、かなりお金をかけないと無理なような気がしますが、そういう現状でございます。

それで、あとの関係についても、ちょっと次の質問とかぶりますので後で申し上げますが、そうい
うかなり荒れているような状況だということをご認識いただければと思います。村民の皆さんもそう
いう理解をお願いしたいと思います。

2番目の質問で、ホテル単体の活用を目指すか、それともゲレンデも一緒に活用を考えているのか
という質問でございます。

これについては先ほども若干答弁がありました。非常に、荒れているという表現は失礼かもしれま
せんが、状況はかなり厳しい状況だと思っておりますが、単体かゲレンデ一体なのか、その辺についてもう
一度答弁をお願いします。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

活用の方法でございます。

リフトの掛け替え経費を考えますと、相当の経費が想定されていますので、現時点、リフトの再稼働は現実的ではないと考えています。現時点で可能性があるとするれば、ホテルの活用になるのではないかと考えています。

ただ、池の平ゲレンデ敷地及びホテルの敷地は国有地であり、レクリエーションの森として、一体に利用していくという計画で国の承認を受けていますので、池の平ゲレンデ及びホテルの用途、使用方法を変更する、または、どちらかだけの利用を続ける、事業を廃止するとなりますと、この計画に対する変更の協議が必要になってきます。

また、指定管理を続けることを決め、指定管理者が見つかり、ゲレンデ敷地を使うといった構想があれば、両方の活用が可能と考えられますが、実際に再稼働に関わる経費をどうするかは課題が残ります。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

今、答弁の中では、スキー場も使わないとちょっと計画的に無理があるような感じの受け止めですが、例えば保養所にするだとか老人施設、そういう設備の転用するのは駄目だということでしょうか。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

現時点、用途を変更するという協議はまだしておりません。ですので、これから可能性としてどういふものがあるのかっていうのは、今現時点で想定できませんので、その協議は現時点ではしてないという状況でありますので、可能性としては今のところ何とも言えないところです。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

次の3番目の質問とその辺もちょっと結びつきますが、村のお金で調査するというところでございますが、6月までの指定管理と同じ条件で村が公募をして、応募者がいなかったら活用を断念し、施設を取り壊して、国に返還した方が良いのではないのでしょうか。使わないからといって金が全くかからないわけでもありませんので、白黒はつきりつけちゃった方がいいと思いますが、いかがでしょうか。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

議員おっしゃる方法も一つと認識をしておりますけれども、今後あらゆる方向性を考慮しながら、有効活用ができるのであれば活用していくことも想定していきたいと考えています。しかし、それができない場合には取り壊し、土地の返還を想定しなければいけないと考えております。

いずれにしても、現時点でどのくらいの経費がかかるかといったものがないと、仮に指定管理者の

候補者が検討するにしてもその辺の判断ができないと考えていますので、一旦、判断材料として算出する必要があると考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

判断材料のために委託したいということの話のようですが、公募で計画を募集すれば、村とすればお金がかからなくて済みますし、また、自由な発想の計画が提案される可能性もあるわけですね。

修理するにしても、豪華なものにするのか、リーズナブルにするのかによっては、先ほど申し上げたとおりかなり変わってきますし、目的がはっきりしないのに、どんな計画、どのぐらい金かかるっていうのは、ちょっと無理ではないかと私は思うんですが、どうなんですか。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

仮に村が指定管理をすると決めた場合、その改修費用をどうするかという問題があると思います。方法とすれば、村が修繕をして指定管理をお願いする、または、現状でお渡しするので、指定管理をしてくれないかといったことが、方法とすれば考えられるんですけども、仮に後者の方を事業者が選択したとすると、どこが壊れているのか見た目で判断できるものでしたらいいんですけども、なかなか見た目で判断できない部分も現在多いということが想定されますので、その辺、ある程度の判断材料ができる調査をしていきたいと思っておりますので、それはある程度の概算経費が出てから、村としてどういう方向にしていっていかってというのは、改めて考えていく必要があるだろうと思っております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

応募者がいれば非常に結構なことですが、使いたいという人が現れればね。

しかしながら、斑尾高原から野尻湖、妙高高原一帯にかけて、外国資本が2,000億円かけてリゾート開発するという計画があるということで、新聞報道等がございます。

スキー場として活用するには、そういう大金を投じて開発しようとするところに対して、池の平、こちらの木島平ゲレンデも含めて考えてもいいんですが、とても太刀打ちできるのは難しいだろうと、それに勝る魅力的な計画ができるかっていうのは、私はちょっと、半信半疑なんてものでなく無理だろうと思いますが、それでもあそこのスキー場も含めて検討するっていうのは、ちょっと私は無理があるんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

スキー場の経営の話はちょっとまた通告事項と違いますんで、先ほどあった改修の概算費用について改めて申し上げますが、最初に申し上げましたとおり、指定管理者が決まらない状況で村が改修す

るということは考えておりませんし、まして、スキー場も含めてホテル経営について、村が直接関わるということも考えておりません。ですから、改めて指定管理者を募集する際の条件として、概算費用を出したいと、ただそれについては、今現在はレクリエーションの森としての計画が認められて、ホテル、スキー場もあるわけでありましたが、場合によれば、新たな指定管理者が全く違った活用方法の提案があるかもしれないと、その際にもやはり概算の費用が必要だろうと思っております。

そしてまた、指定管理者の応募がなかった場合については、先ほど申し上げたとおり、議会と協議をしながら、解体撤去そしてまた土地を返還するということになるだろうと思いますが、それにしても、多額の費用をかけてホテルを建設してスキー場を作った経過があります。それを何の根拠もなく、使う人がなかなか見つからないから解体して撤去して土地を返還しますっていうことが良いのかどうか。やはりある程度、解体撤去するにしても、もうこれだけの費用がかかって村では直接管理は無理だと、そしてまた、最終的に指定管理者がなかったという条件がしっかりと、何の根拠もなく解体撤去しますというのはちょっと難しいんじゃないかなど。今まで村が関わってきた施設として、それをそういう根拠のもとに撤去するのはいかがなものかなと思います。

やはりこれだけの費用がかかる、そしてまた、新たな使い道が決まらない、その辺の根拠をしっかりと村民の皆さんに示したうえで、最終的には、議会の皆さんと協議をしながら進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

村の監査委員から、今後の施設の在り方についてということで「解体撤去を視野に入れ、早期に決定されたい」との、かなり踏み込んだ審査意見が出されております。

まだあるものを有効に活用みたいな論議になっておりますが、先ほどの中でも村長は「通告にない」というような話がありましたが、ちょっと戻るような質問になっちゃうんですが、3番目と関連しまして、スキー場一体で使用するのか、ホテル単体で使用するのかという質問をさせていただいて、私は、単体にしろ一体的に活用するにしても難しいのではなかろうかということで、活用を断念した方がいいんじゃないかというふうに申し上げます。

事前協議で、ぜひ林野庁と相談していただけないでしょうか。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

今のご質問ですが、「あらゆる状況をして、林野庁と協議をしたらどうか」というご質問でよろしいかと思うんですけども、以前から協議をさせていただいておまして、ある程度の村としてのいくつかの方針が固まり次第、協議はさせていただくということでお話をしておりますので、また近いうちに協議をさせていただく話になっておりますので、その辺も含めて協議をしていきたいと思っております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

3. 社会福祉協議会決算に対する村の対応について

8番 山崎栄喜 議員

それでは、3番目の質問、社会福祉協議会決算に対する村の対応について質問します。

木島平村社会福祉協議会（以下、社協）の決算は、わかりやすい表現を使用すると、4年連続の赤字決算であり、特に令和5年度会計は過去3年間より1,000万円以上多い、過去最大の約3,700万円の大幅な赤字決算となりました。4年間では1億円を超える赤字になります。

そこで、次の2点について村長に伺います。

村は社協の唯一の出資者ですが、この赤字に対する出資者としての責務についてお尋ねをします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

社協の定款の目的には、「村内における社会福祉事業、その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする」とあります。その中で、村では社会福祉活動の推進、介護予防事業の実施、ボランティア、心配ごと相談などの事業を委託し事業を実施していただいているところでもあります。また、平成12年から介護保険事業が始まり、村内において介護サービス事業の展開を図る事業所が現れなかったことから、社協において、先ほど申し上げました社会福祉活動や介護予防事業のほか、介護サービス事業の運営を担っていただくことになりました。

その後、介護予防事業及び介護サービス事業のバランスがほどほど良く、令和元年度までは黒字経営を継続してきたのでありますが、近年、要介護者の出現が少なくなったことから、介護サービス事業の部門の収益が悪くなった、そのことにより現在のようになっているところでもあります。それは、社協が行っている介護予防事業の一つの要因であるというふうに考えます。いつまでも介護に頼ることなく、自立した生活を長く営めることは村民の皆さんにとっても喜ばしいことであり、村の介護保険財政にとっても大変喜ばしいことではあります。また、それは社会福祉協議会の本来の目的でもあります。

社会福祉協議会は、村の介護に関わる最後のセーフティーネットであります。必要な組織であります。社協の自助努力の中で最大限の経営改善を求めながら、将来的にその役割を十分果たせるよう村が支援することについて、村の責務という意味では、村が支援することについて村民の皆さんのご理解はいただけるものと考えております。次のご質問とちょっと答弁がだぶる部分がありますが、それが責務ということですので、あえて申し上げさせていただきます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

社協に対する質問については、議員としては制限がございますので、あまり踏み込んだ質問はできませんが、赤字の原因は、今、村長答弁がありました。介護サービス事業関係の利用者数の減少、これはもちろんありますが、それ以外にも私はあるだろうと思います。

村は、社協の理事を職員から送り込んでいますね。そういうことで、どうも聞くところによると、役場職員の理事は遠慮がちであるような雰囲気があるようなことも聞いておりますが、村長の方から理事としての責務を十分に果たしてもらおうよう、督励をしてもらえればというふうに思います。これについては答弁は求めません。

2点目に、経営改善について伺います。

赤字解消のため、まずは社協自らが実効性のある経営改善を行うのが筋だろうと思います。社協の

監査委員からも何度も「早期の改善計画の作成、実行による経営の安定と、健全な財政運営を」と指摘をされているところであります。

社協では、村と経営改善懇談会を数回行っているようでございますが、この結論が出たのかどうか、出たのであれば、村に関わる事項についてお伺いしたいと思います。

経営改善といってもたやすくできるとは私は思いません。そこで、村のお金がかからない支援として、今まで民間に任せていたことに逆行することになりますが、人件費削減のために、以前行っていたように、事務局長を村の民生課長に兼務させてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

社協は大事であります。私も潰すなんてことは毛頭考えておりませんが、村が支援をするにしても、やはり村民が納得できるものでなくてはならないだろうと考えます。安易に赤字だから支援するということじゃなくて、その原因をしっかりと探ったりしながら、村民の理解を得られるもので考えていただきたいと思っております。村長の見解と方針を伺いたいと思っております。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

経営改善について、懇談会というか相談を受けていることもあります。その中で結論出たものはないところもあります。ただ、社協の経費のほとんどが人件費でありますので、なかなか削減は難しいということは共通の認識であります。

そしてまた、「以前のように村の人事の中で事務局長を」という話ではありますが、これについては人事に関わる話でありますので、この場では答弁については控えさせていただきます。

議員おっしゃるとおり、社協というのは本当に大事な組織であります。また、村の福祉にとっても欠くことのできない組織ということで、その経営状況についても、村としてもしっかりと一緒に考えていくというか支援は必要だろうと思っております。

そんなことで、これまでの懇談というか話の中で、近隣の社会福祉協議会等の状況とそれぞれの自治体の状況について調査をするようにということで、資料を出していただいたりしております。

そしてまた、私とすれば、長野県町村会の中で社会環境部会の中に入っておりますので、その中で、私の方から提案をして、そこにいました十四、五町村だと思っておりますが、その中の皆さんに、社協とそれぞれの町村との財政的な関係について意見を聞いたことがあります。その際に、木島平村以外は全て運営費の補助、それからまた赤字補填を行っているということで、村の状況を申し上げたら、むしろ逆に、木島平の社協頑張っているなというふうに驚かれたというのが実態であります。

それぞれ細かく言えばいろんな実態の違いがあるんだろうと思っておりますが、やはり、村の社会福祉を支える組織としてしっかりと事業を進めていく、そのためには最初に申し上げたとおり、やはり自助努力の中でしっかりと経営改善を図っていく。それと同時に、やはりそれでも不足する分については村が支援して、間接的ではありますが、村が福祉を支えることについては、村民の皆さんもご理解いただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

村も財政は非常に厳しいわけでございますが、言うことばかり聞いているのが大変だろうということの中から、人事の事に立ち入るような話をさせてもらったわけでございますが、今後の検討材料として、ぜひ検討をお願いしたいと思います。社協の職員の説明によると、半分の町村は、実際は役場からの派遣という実態があるということでございます。ここで答弁をいただくのは難しいのは十

分承知しておりますが、その辺も考えていただきながら、村も厳しいということの中で、そういう検討の一つにしてもらえればと思います。

以上で、私の質問を終わらせていただきます。

議長（勝山 正）

以上で、山崎栄喜議員の質問は終わります。

（終了 午後3時33分）

議長（勝山 正）

この際申し上げます。

本日の会議における発言について、後日、会議録を調査し、不適切発言があった場合には、議長において善処いたします。

以上で、本日の日程は終了しました。本日はこれで散会します。

ご苦労さまでした。

（散会 午後3時34分）